

厚生労働科学研究費補助金（がん政策研究事業）  
分担研究報告書

がん相談体験スケールの開発に関する研究の中間報告

研究代表者 高山 智子 国立がん研究センターがん対策情報センター 部長  
研究分担者 萩原 明人 九州大学大学院医学 研究院 教授  
研究分担者 森田 智視 京都大学大学院医学研究科医学統計 生物情報学 教授  
研究分担者 藤 也寸志 国立病院機構九州 がんセンター 院長  
研究分担者 清水奈緒美 神奈川県立がんセンター看護局 副看護局長  
研究協力者 井上 洋士 国立がん研究センターがん対策情報センター 主任研究員  
研究協力者 八巻知香子 国立がん研究センターがん対策情報センター 室長  
研究協力者 小野塚大介 九州大学大学院医学 研究院 助教

研究要旨

「がん相談体験スケールの開発」に関する調査中間報告である。2018年12月末までに回収できた第1回目調査131件、第2回目調査89件について、開発中の「がん相談体験スケール」の49項目については、10%以上の欠損値のあるものはなかった。最終集計を行っていくとともに、並行してPropensity score-matching法を用いた研究プロトコル作成を行う予定である。

A. 研究目的

将来に亘って持続可能ながん相談支援の体制の確立に向けて、がん診断早期からのがん相談支援の有効性の検証を行い、エビデンスを構築することが必要である。本報告は、1年目に計画した3つの研究枠組みを遂行するにあたり、先行して実施している「がん相談体験スケールの開発」に関する調査中間報告である。

B. 研究方法

がん患者が体験する「がん相談体験スケール」の開発を行うことを目的として、質問紙による縦断的研究デザインによる調査を2018年7月から7施設において調査を開始した。目標の対象者数は、がん相談支援セ

ンターを利用した20歳以上のがんの当事者（がん患者およびがん経験者）で、本人自身による自記式調査票の記入が可能である者300名である。本中間報告は、2018年12月末までに回収できた第1回目調査131件、第2回目調査89件の解析結果である。

第1回目および2回目の調査内容は以下のとおりである。

【調査内容】1)

1回目調査：

- ①「がん相談体験スケール」（49項目）
- ②心理尺度（STAI 状態不安）（20項目）
- ③QOL・スピリチュアリティ尺度（FACIT-Sp）（41項目）
- ④患者体験調査項目（Picker's Patient

## Experience) (15 項目)

⑤フェイススケール (2 項目 (相談前後))

⑥がん相談支援センターの利用者評価項目 (12 項目)

⑦患者の背景情報 (性・年齢、がんと関わり、治療状況、相談支援センターの利用状況)

### 2) 2 回目調査 :

①「がん相談体験スケール」 (49 項目)

②患者中心のコミュニケーション評価項目 ( Patient Centered Communication Assessment Items) (16 項目)

中間解析として、回答率および基準関連妥当性の検討を行った。

## C. 研究結果

### 回答率の検討

開発しているスケール 49 項目の回答率について、中間解析段階で 10%以上の欠損値項目はなかった。

### 基準関連妥当性の検討

開発中の「がん相談体験スケール」とフェイススケール、心理尺度、QOL スケールとの単相関分析により、基準関連妥当性の一部について検討を行った。現段階で、「がん相談体験スケール」と関連がみられたのは、相談後のフェイススケール、QOL の社会的側面、スピリチュアルの側面であった。D. 考察

現時点で、欠損の高い項目はなく、概ね想定されていたとおりの予測通りの相関が見られていた。2019 年 3 月末現在第 1 回目調査 155 件、第 2 回目調査 104 件の回収があるものの、全体として遅れがあり、調査実施のサポートを行って行く必要があると考えられた。

## E. 結論

がん相談支援センターにおける体験そのものが、非常に微妙な要素になることが考えられることから、より厳密にその体験を測定するためのスケール開発を行った。中間集計結果では、調査回収状況の遅れはあるものの、相談支援における体験を測定できていると考えられた。最終集計を行いつつ、並行してPropensity score-matching法を用いた研究プロトコール作成を行っていく必要がある。

F. 健康危険情報 (分担研究報告書には記入せずに、総括研究報告書にまとめて記入)

なし

## G. 研究発表

1. 論文発表 2. 学会発表

(発表誌名巻号・頁・発行年等も記入)

なし

## H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得 2. 実用新案登録 3.その他

なし